

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS No. M740-32-8707

M50930/931/932-XXXXFP使用上の注意事項

M50930-XXXXFP/M50931-XXXXFP/M50932-XXXXFP使用上の注意事項として以下の項目が追加されました。どうぞご了承くださいますようお願い申し上げます。

1. シリアル I/Oに関するもの

- (1) 転送クロック源を切り替えた後は、シリアル I/Oカウンタの初期化 (00F7₁₆番地への書き込み) を行ってください。
- (2) 転送クロック源として外部クロックを使用するときは、シリアル I/Oカウンタの初期化は外部から入力するクロックが“H”のときに行ってください。

2. ストップモードに関するもの

- (1) STP命令を実行する前に、タイマ2割り込み要求ビット (00FE₁₆番地のビット5) をクリアしてください。

3. デバッガに関するもの

- (1) デバッガは、トレースコマンドを実行するとき、専用基板上のCPUから出力されるSYNC信号を使用しています。
システムクロックとして時計用クロック $f(X_{CIN})$ を選択しているときに、非システムクロックであるメインクロック $f(X_{IN})$ を停止させると、SYNC信号が停止しトレースコマンドが実行できなくなります。そのため、メインクロックは停止させずにトレースコマンドを実行させてください。なお、RUNコマンド (Gコマンド) は上記に関係なく正常に動作します。